

(様式3)

事業所名 グループホームハピネス

## 目標達成計画

作成日: 令和 7年 2月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・人材育成のノウハウがなく介護専門職としての成長に時間がかかり、より質の高いケアを提供する上で課題となっている。	・OJT(職場内研修)と業務マニュアルの整備を進め、スタッフが効率的に成長できる環境を作る。	・マニュアルを更新し、現スタッフ、新規職員共に理解しやすいものを作成する。 ・OJTを仕組み化する。	6ヶ月
2	23	・ボランティアの受け入れの手間がなく、利用者にとって外部の刺激が少ない。	・地域の小規模なボランティア活動を受け入れ、利用者が外部との交流を行う機会を作る。	・「月1回の訪問ボランティア」を目指し、まずは見学型・体験型ボランティアから行う。 ・SNSや地域の掲示板、通知等でボランティア募集する。	6ヶ月
3	48	・自立度の偏りから、日中のアクティビティに利用者間で差が出てしまっている。	・自立性の異なる利用者が一緒に参加できるアクティビティを増やし、全員が楽しめる環境を作る。	・個別対応不要な「共通アクティビティ」を導入し、「役割」を意識したシーンを増やす。 ・達成感を感じられるよう、小さな成功体験を積み重ねられる形にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月